

胃の検査を受診される皆さまへ

検査を受けるときには次の注意事項を読んで、楽な気持ちで受けましょう。

1. 検査を受けられない方

- ① 当日の朝、食事をしたり水または白湯以外の水分を飲んだ。
- ② **過去にバリウム検査で、具合が悪くなったことがある。**
- ③ **過去にバリウム検査で、誤嚥(ごえん)したことがある。**
- ④ **胃・十二指腸の手術を受けたことがある。**
(大腸の手術を受けたことがある方は、お断りする場合もございます。)
- ⑤ 現在、胃腸の病気で治療中、または経過を見ている。
- ⑥ 人工肛門を造設している。
- ⑦ 病気等で水分制限を受けている。
- ⑧ 目が見えない、耳が聞こえない、自分で立つことができない、手すりをつかむことができない。
- ⑨ あお向けや腹ばいで寝ることができない。
- ⑩ **体重が130kg以上ある。(機械の耐荷重を超えてしまい、安全を確保できないため)**
- ⑪ 2ヶ月以内に大腸ポリープを切除している。
- ⑫ 1年以内に脱腸、腸閉塞、腸捻転になったことがある。
- ⑬ 1年以内に食道・胃・十二指腸・小腸・盲腸・大腸・胆のうの手術をした。
- ⑭ 1年以内に心臓や脳血管の病気を発症した。
- ⑮ **妊娠中、及び妊娠している可能性がある。不妊治療中の方は主治医とご相談ください。**
- ⑯ 当日まで72時間排便が無い。(高度な便秘の方)
- ⑰ 当日体調がすぐれない。
- ⑱ **検査直前の血圧測定の結果、最高血圧180/最低血圧110mmHg以上となった場合。**
- ⑲ **当日糖尿病の薬を飲んだり、インスリン注射をした**
- ★ その他、当日の問診により検査をお断りする場合もございます。

2. 検査前日の注意点

- ① 夕食は午後8時頃までに済ませ、以後は何も食べないでください。(水のみ取ってください)
- ② アルコール類は、胃を刺激するので前夜は飲まないでください。
- ③ 便秘症の方は、下剤を使ってできるだけ排便してください。

3. 検査当日の注意点

- ① **検査2時間前までの水のみ可ですが、
その他は飲んだり食べたりしないでください。**
- ② タバコは吸わないでください。
- ③ 検査前にできるだけ排便を済ませてください。
- ④ お薬を飲むよう指示されている方は、検査当日自己判断で中止せず、**必ず主治医にご確認ください。**

※糖尿病の方へ(主治医に要確認)

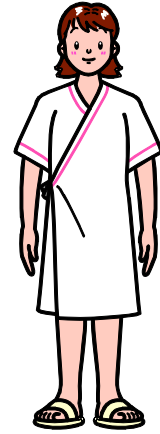
検査前は、薬の服用やインスリン注射はしないでください。

◎ **血圧の薬は検査2時間前までに200mlの水で必ず服用してください。**



4. 検査時の服装について

- ① 検査衣に着替えていただきます。
(時計、ネックレス、金具のあるブラジャー、腹巻き、ガードル、
コルセット、ボディースーツなどは、はずしていただきます。)
- ② エレキバン、使い捨てカイロ、湿布薬は写真上の障害となりますので
必ずはずしてください。



5. 検査後の注意点

- ① 下剤をお渡ししますので、必ず指示通りにできるだけ多くの水で服用してください。
(コップ2杯程度の水でお飲みください。)
便秘がちな方には下剤を余分にお渡ししますのでお申し出ください。
授乳中の方は、母乳に影響のない専用の下剤をお渡しいたしますのでお申し出ください。
- ② 検査後は白っぽい便が排泄されなくなるまで、水分を多めにとり続けてください。
下剤服用後、下痢や腹痛を伴うことがあります。もし、翌日以降もお通じがない場合や、
腹痛が持続する場合は、かかりつけの医療機関にご相談ください。

6. 当日の持ち物

- ① 胃がん検診 受診券
- ② 同封されているバリウム検査に関する同意書(問診)
- ③ 個人負担金 840円
- ④ 健康保険被保険者証

★胃の検診を受ける前の水分補給について

脱水・熱中症予防の観点から、**水分を適切に摂取していただく**ようお願いいたします。

- ・水分は水であれば前日夜8時以降も、摂取し続けてかまいません。
夜間に喉が渴いたときや朝の目覚めにコップ1杯程度の水は飲んでも大丈夫です。
- ・気温が高い日などは、汗で水分が失われますので、**検査2時間前まで**なら喉が
乾かないように少量ずつ**水を飲んでいただいてかまいません。**
2時間前からは水分は一切とらないでください。

**検査の結果、精密検査が必要とされた方、また異常なしとされた方でも自覚症状のある方は、
速やかに医療機関で精密検査を受けてください。**